

# JFMA FM 秋の夜学校 2018

★ 第1夜 2018年 9月19日(水)開催 18:15~20:00 [WS0546/WS0547]

＜第1時限＞【ユニバーサルデザイン研究部会】

「ユニバーサルデザインの基本的知識」

＜第2時限＞【こころとからだのウェルビーイング研究部会】

「ウェルビーイングを実現するためのファシリティマネジメント入門」

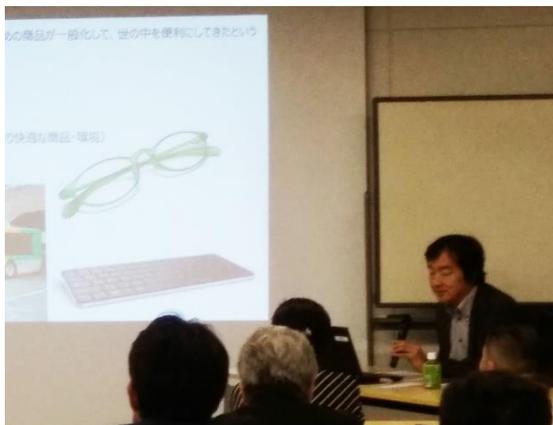
<概要>

【ユニバーサルデザイン研究部会】

「ユニバーサルデザインの基本的知識」

部会長：似内 志朗 氏

全ての人を使いやすいデザインを意味するユニバーサルデザイン（UD）は、建築家ロン・メイスにより、7つの原則（公平な実用性、柔軟性、直感的理解、感覚的理解できる情報、エラーへの対応、少ない身体的負担、利用しやすい大きさや空間）とともに使われはじめた言葉だが、そもそもUDとは何か、これまでどのような影響を社会に与えてきたのか、バリアフリーとは何が違うのか、UDとバリアフリー関連の法律の変遷など、UDの基本について解説します。そして東京オリンピック・パラリンピックを間近にしてUDがどのような意義を持つのか、多様性の包摂（ダイバーシティ）との関係、最近話題の働き方改革や健康経営とどのような関連性があるのか、などについてもお話します。



<概要>

【こころとからだのウェルビーイング研究部会】

「ウェルビーイングを実現するためのファシリティマネジメント入門」

部会長：高原 良 氏

日本では生産年齢人口の減少に伴って、働く人が心身ともに良好な状態で、イキイキと働ける職場環境づくりが大きな社会課題となっています。本セミナーでは、そのように社会状況が変化の中で、働く人のウェルビーイングを実現するための新しいファシリティマネジメントの在り方をご紹介します。ウェルビーイングや健康経営の基本的な考え方から振り返り、健康経営オフィスレポートやWELL Building Standard等のガイドラインの紹介、また昨年JFMAにて開催した計5回の健康経営シンポジウムで登壇されたトップランナーの方々から示された取り組みのポイント等をご紹介します。



# JFMA FM 秋の夜学校 2018

第2夜 2018年9月26日(水)開催 18:15~20:00 [WS0548/WS0549]

<第1時限>【エネルギー環境保全マネジメント研究部会】

「エネルギーマネジメント最前線」

<第2時限>【キャンパスFM研究部会】

「大学のファシリティマネジャーの役割」～キャンパスFMを始めようとする大学のために～

<概要>

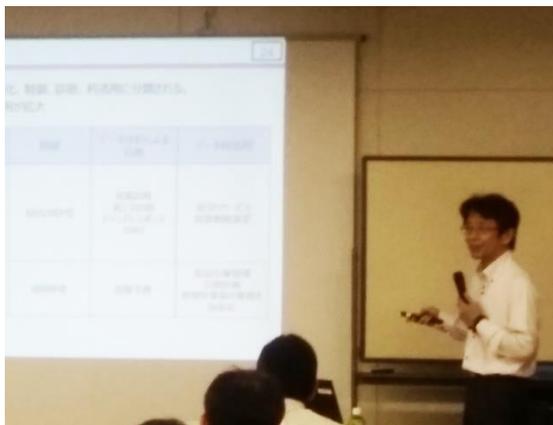
【エネルギー環境保全マネジメント研究部会】

「エネルギーマネジメント最前線」

部会長：横山 健児 氏

世界の潮流が「脱炭素」に向かう中、我が国でも「地球温暖化対策」が閣議決定され、この中でビルエネルギーマネジメントシステム（BEMS）を使った徹底的なエネルギー管理の必要性が示された。さらに、電力システム改革の進展により、ビルだけではなく電力供給システムと連携してコミュニティレベルでエネルギー管理を行うCEMSへの期待が高まっている。一方、BEMS、CEMSで収集されたビックデータをIoT & AI技術によってFMに活用する方法が模索されはじめています。

本講座では、エネルギーマネジメントに関わる動向と利用されるシステムの標準化状況を解説すると共に、FMにおけるBEMS、CEMSおよびIoT&AI技術の活用事例について紹介する。



<概要>

【キャンパスFM研究部会】

「大学のファシリティマネジャーの役割」

～キャンパスFMを始めようとする大学のために～

部会長：藤村 達雄 氏

大学は、18歳人口が増えない時代に突入するとされる「2018年問題」のなかで、教育の質の向上を踏まえたイノベーション改革、ガバナンス・マネジメントの強化等の、戦略的な大学経営の実質化が求められています。このような中、従前から、大学経営を支援するファシリティマネジメントは、文科省をはじめ各種関係団体から、その必要性が訴えられて来ました。しかし、ごく一部の大学以外においては、十分に活用されて来ませんでした。今回の「秋の夜学校」では、このような状況を踏まえ、これまで、ファシリティマネジメントに取り組み来てこなかった大学を対象に、まず一步を踏み出すための取組についてお話しします。

